第4号様式(第9条関係)

会　議　録　(要　旨)

会　議　名	第４回地域福祉活動計画策定委員会
開　催　日　時	令和８年６月１２日(金)午後１時３０分～２時４５分
開　催　場　所	武蔵村山市民総合センター　集会室
出席者及び欠席者	出席者：比留間委員長、菱沼副委員長、石橋委員、太田委員、大坪委員、志村委員、戸村委員、髙橋委員、吉澤委員、吉野委員 欠席者：小川委員、棚橋委員、告委員、田村委員、持田委員 事務局：会長、事務局長、福祉総務課長、在宅支援課長、総務係長、南部包括センター長
議　題	説　明 ・第３回武蔵村山市地域福祉活動計画策定委員会の会議録（要旨）について 議　題 (1)　前年度の振り返りについて (2)　計画の理念及び骨子について (3)　その他
結　論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	(1)　理念、基本目標の文言を合わせるとともに、内容を再度検討する。 (2)　地域共生社会とは何か、もう少しわかりやすい言葉はないか。市民に聞かれてもすぐに答えられるよう、資料を整える。 (3)　障害の誤解・偏見、互いを尊重し、認め合うなどの言葉がどこかに入ると良いので検討する。 (4)　武蔵村山市の地域福祉計画とリンクするよう情報収集し、活動計画に取り込めるようにしていく。 (5)　次回の開催日は令和８年９月１８日(金)午後１時３０分からとする。
審　議　経　過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (○＝委員、 ■＝委員長、 ●＝事務局)	※議事進行前に、事務局から配付資料を確認し、その後「第３回策定委員会会議録（要旨）」について説明した。 【議題】 (1)「前年度の振り返り」について 【説明要旨】 ● 事務局より説明 事務局より、昨年実施した第１回から第３回までの策定委員会の進捗状況（菱沼委員による講義、スケジュール承認、令和８年１月から２月に実施した専門職アンケート調査の実施経過など）について口頭にて振り返りの報告を行った。質疑等は特になく、全体の経過が改めて確認された。 【議題】 (2)「計画の理念及び骨子」について 【説明要旨】 ● 別紙に基づき事務局より説明 第三次地域福祉活動計画と比較しながら確認をしていく。 【主な意見等】 ○ 地域共生という言葉を今一度ご説明いただければ。どういった意味合いなのか。 ● 地域の住民の方とともに、一緒にやっていこうという意味合いがある。 ○ 事務局側でここの使い方に何か前回と違う思いがあるのか。 ● 同じ意味合いではあるが、新たに基本目標の４を加え、地域とともにお互いに支え合うというニュアンスを変えた形になる。 ■ これまでの支え合いと安心して暮らせると共通ですが、現在の「誰もが安心して」から、「誰もがつながり」という部分が新しい。一緒に

	支え合ってまちを作っていきましょうという思いが地域共生の中にあるということで良いか。 ○　なかなか基本理念が抽象的で難しいが、具体的な事業がぶら下がってくるとなんとなくイメージがわいてくると思う。 ●　前回の作成より数年経っていることもあり、近年の社会状況の変化であったり、多世代共生とか重層的支援体制など新しいこともあるので、そういった意味合いもあり地域共生という形で入れた経過がある。 ○　国が地域共生社会の定義づけをしており、読み上げると、「地域共生社会とは制度分野毎の縦割りや支え受けてという関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民１人１人の暮らしと生きがい、地域をともに作っていく社会を指しています」という定義づけがされていて、「地域共生のまちは地域共生社会と同じ」という風にするのかあえて「私たちはこういうことを足していきたい」とするか色々考え方があると思う。おそらく行政計画でも地域共生社会ということが入ってくると思うので、行政計画と社協の計画で合わせていくのか、整理していただけると良いかと思う。基本理念というのは、色々活動していくなかで、そこで立ち戻って、自分たちがやっていることは適切なのか、見直していく基本的な考え方になるので、そういう時にこの理念に立ち戻っていければ、方向性が違うことなく進んでいける言葉があるかのどうか、皆さんに考えていただけると良いのかと思う。 ○　事務局で情報共有することで、地域共生について市民から質問が来たときに答えられるように、細かく記載すると長くなってしまうので、別紙で答えられるようにしてはどうか。 ○　社会福祉協議会が抱える地域共生のまちというものを目指していると付記的にあるとわかりやすい。国が目指すものと似ているものや違ったニュアンスがあるのか意味を説明したほうが、市民のかたが読んだ際にわかりやすいのではないか。 ●　地域共生の意味的なものをしっかりと記載させてもらうかたちで。 ■　次回そのあたりを付け加えていただけたらと思う。 ○　前回と違って、繋がりという言葉が入ってきているところは、市民のアンケートから繋がりが不足しているとか弱いということがあってあえて新しく入れたのか。 　地域住民の皆さんは、家族が少なくなったり高齢者が多くなったりで繋がりが弱くなってきていると感じられているということである。 ●　高齢者の方が孤立したり、単身世帯が増えたりという問題もあり、つながりがないと見落としてしまうことがあるかもしれないので、やはり繋がりっていうのは大事なことなのかと思っている。 ■　基本目標に移りますが、ちなみに今までは３つだった。１から３は基本的に同じか。 ●　１から３は基本的に同じである。ひと、まち、しくみで基本的には同じ。 ■　４つめが地域の力をつなぐ協働とネットワークを作るということか。 ○　今回は地域を支えるとなっており、前回は頼れるひとづくりで、ニュアンスやイメージの違いを教えていただければ。 ●　市民アンケートの中で、市民の方も自分たちもできることはできるということもあり、表現として地域を支えるとしている。 ■　これまでは頼れる人を作っていくというところが代ってきたのか。 ○　頼れる人を何人も集めることは難しい。担い手としても難しいので、ゆるやかにやれることで少しずつ人づくりというか、つながりを作っていくという意味。

	■　リーダーシップを取るような中核的な人を求めていたのが、今回は市民の皆さんで理念の地域共生するというほうがしっくりくる。 ○　市民のアンケートでも出ていたことなので、基本目標４を入れることは良いことだと思う。 ○　基本理念のまちを入れた方が良いのか抜いた方が良いのか漢字が良いのか、４番を考えながらみていた。入れないほうが理念が生きてくるかと思う。 ○　市役所的なお話だが、基本理念が、「つながり」、「支え合い」、「安心して暮らせる」という順番で構成されているので、基本目標でバラバラにならないほうがわかりやすいかなと思う。先ほど委員が言われた地域共生のまちが言葉としてどこにも入っていないが、４番に入っている。４番の言葉も地域の力をつなぐ協働のあとがネットワークになっているということか。地域の力をつなぐのがネットワークなのか。二重用語的になっているのか。地域の力をつなぐ共生のネットワークづくりとか、どこかで共生を入れたい。基本理念とつながり、関連があったほうが良いと思う。４番をせっかく入れたので、地域のプラットフォームにしていきたい。そのプラットフォームが共生のまちの核というか基盤になっていく思いがある。全体を通すとみんな共生のまちだが。 ○　１番と２番が逆ではないか。 ○　４番に共生を入れるとしっくりくる。 ○　地域共生という意味の中で、地域共生という文言で柔らかい言葉があるのか。なければそのままでも良い。 ○　国の方はその地域性ということを定義づけしている話があったところで、全てをひっくるめた言葉があればと思ったが探すのは難しい。 ●　そのまま使うか同じようなニュアンスがあるか検討する。 ○　地域共生社会というと１，２，３を包含するような意味があるので、ちょっと悩ましいと考える。一つの視点ではあるが、例えばプラットフォームが４に入っているので、地域共生のまちにこだわらないのであれば、地域共生プラットフォームの実現みたいに、みんなで作っていくという意味合いを持つというのがあるかもしれない。 ●　内部委員会でも検討し、次回提案させていただく。 ○　「ゆるやかに担い手づくり」、とあるが意味がよくわからない。 徐々に担い手を作っていくということか。 ●　他の社協では、ちょっとだけとかスキマ時間でできるという意味である。ゆっくりというより気軽にやれることだけという意味合いがある。 ○　３番の誰もが相談できるは、相談に限定していてそのあとに支援とある。ここは誰もが頼れるではないか。相談とすると支援だけではなく、相談体制・伴走支援などいろんなことができる。 ○　今のところ、断らない相談支援という言葉がよく使われる。 ○　アンケートの中で気になっているところで、精神障害を近所で理解されず引っ越しせざるを得なくなったというのは重大な問題だと思う。福祉教育が担い手づくりになっているが、担い手の前に誤解をなくしていくような、互いを尊重して認め合うというような学びも必要だと思っていて、社協も行っているが、基本目標１よりも２に入ると思う。その地域の中の誤解偏見をなくしていけるようになれば良い。 障害のあるかたも生活をしっかり専門職が支えていきながら地域の人が支えていく仕組み作りは社協の役割。お互いが尊重し合い認め合えるような地域づくりの部分も、今後計画に入れていただけるとありがたい。 ○　今回資料を見させていただき根拠やアンケートを出していただいているので、今後計画を追い込むときにピックアップしていただいて、

	こういうことがあるからこういうことは大事だというところを入れていただくのは、作り方としては大事だと思う。 ● もし会議後でも思うこと等々ありましたら、事務局まで御意見いただければ、それも参考に作りたいと思う。 ■ 目標４はちょっと難しいが、地域共生の部分を意識していただき書き起こしてもらえると良い。 私たちは本当にプラットフォームになるんですという社協の意気込みが感じられると良いと思う。 ○ 災害についてあまり記載できてないが、地域に関していうと、一般的に自治会とか老人会、ボランティア制度もそうであるが、その体制がまだまだ発揮できる体制になっていない。避難場所などの体制づくりなどネットワークのようなものを作ってもらえればと思う。 ● 次回の会議日程について、第５回９月１８日（金）１時半から。前の会場に戻ります。計画の素案について話し合っていただきたい。第６回が１１月２０日（金）１時半から、ボランティア市民活動センター会議室です。素案についてかなり形を決定いくことになる。第７回が令和９年２月１７日（水）。 ● 地域福祉計画の進捗状況を持田課長に伺おうかと思っていたが、欠席されている。今日参加している藤江センター長が地域福祉計画の懇談会に参加予定で、吉野地域係長も参加するので、地域福祉計画と地域福祉活動計画がリンクして作ることができるよう情報を共有していきたい。 ■ 市と関連している情報は、しっかりと組み込んでいただきたい。 (3) その他 なし ７ 閉会 ―以上―

会議の公開・非公開の別	☑公　　開　　傍聴者：＿＿＿＿０人 ☐一部公開 ☐非 公 開 ※一部公開又は非公開とした理由 〔　　〕

会議録の開示・非開示の別	☑開　　示 ☐一部開示(根拠法令等：　　) ☐非 開 示(根拠法令等：　　)

庶務担当課	福祉総務課　総務係　電話０４２（５６６）００６１

（日本工業規格A列4番）